

法令試験問題

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

- (1) 事業者は、旅客の利便を著しく阻害するおそれがあるときは、事業用自動車に車掌を乗務させなければならない。
()
- (2) 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫の収容能力を15㎡広くした場合、車庫の位置に変更が無ければ、事業計画の変更の手続きは必要がない。
()
- (3) 事業者は、無償である場合に限り、その名義を他人に利用させることができる。
()
- (4) 一般貸切旅客自動車運送事業者の事業計画には、配置する事業用自動車のうち、長さ、幅、高さ又は車両総重量が最大であるものの当該長さ、幅、高さ又は重量を記載しなければならない。
()
- (5) 自動車の使用者は自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に国土交通省令で定める技術上の基準により灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。
()
- (6) 一般貸切旅客自動車運送事業廃止届出書には、「廃止する理由」を記載する必要がある。
()

(7) 事業者は、事業用自動車の運転者ごとに乗務員台帳を作成し、これを運転者の属する営業所ごとに備えて置かなければなりません。では、下記の中で乗務員台帳に記載が必要な事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。

- ①運転免許証の有効期限 ()
- ②営業所の名称及び位置 ()
- ③雇入れの年月日及び運転者に選任された年月日 ()
- ④運転者の健康状態 ()
- ⑤乗務員の家族構成 ()
- ⑥作成番号及び作成年月日 ()

(8) 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、收受した運賃又は料金の割戻しをしてはならない。 ()

(9) 事業者の運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。 ()

(10) 運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。 ()

(11) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき3回が限度である。 ()

(12) 旅客自動車運送事業者は、事業報告書及び輸送実績報告書を毎年5月31日までに管轄する運輸支局に提出しなければならない。 ()

(13) 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインに関する事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を () 内に記入しなさい。

- ① 地方自治体、学校関係者等の利用者に選定のポイントを示すものであり、旅行業者は対象としていない ()
- ② バスガイドの要否を、行程検討の際の留意点の一つとしている ()
- ③ 入札の契約方法として、一般競争入札を勧めている ()

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

(1) ①道路運送法は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとするることにより、道路運送の利用者の（ ）を保護するとともに道路運送の総合的な発達を図り、もって（ ）を増進する事を目的とする。

②一般旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、（ ）を起こしその他国土交通省令で定める（ ）を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。

③一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（ ）の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める（ ）ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、（ ）を選任しなければならない。

④旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために、次の各号に掲げる事項に関して適切な処置をしなければならない。

- (1) 旅客の運送を（ ）すること。
- (2) 旅客を（ ）まで送還すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、旅客を（ ）すること

ア. 所有権	イ. 運行管理者	ウ. 出発地	エ. 保安基準	オ. 運行の安全
カ. 技術の向上	キ. 火災	ク. 利益	ケ. 迅速	コ. 走行距離
サ. 重大な事故	シ. 運営を適正	ス. 目的地	セ. 点検	ソ. 継続
タ. 営業所	チ. 公害の防止	ツ. 適切な時期	テ. 公共の福祉	ト. 保護
ナ. 乗務員の服務				

(2) 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第48条各号に掲げる（ ）及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

- ア. 業務の適確な実行
- イ. 点呼の実施
- ウ. 乗務員の研修

(3) 事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合、一定の事項を記録し、当該記録を運行を管理する営業所において（ ）間保存しなければならない。

- ア. 1年
- イ. 2年
- ウ. 3年

(4) 旅客自動車運送事業者は、() 以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。

ア. 二月 イ. 六月 ウ. 一年

(5) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を() しなければならない。

ア. 常に清潔に保持 イ. 可能な限り清潔に ウ. 運行のたびに清潔に

(6) 旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して() 保存しなければならない。

ア. 半年間 イ. 一年間 ウ. 三年間

(7) 自動車運送事業の用に供する自動車は() ごとに定期点検整備をしなければならない。

ア. 三ヶ月 イ. 六ヶ月 ウ. 一年

(8) 「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき、旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項(国土交通省告示第1089号)」において() については、公表すべき事項として定められていない。(国土交通省告示第1089号)

ア. 事務員の数 イ. 輸送の安全に関する基本的な方針 ウ. 輸送の安全に関する目標及びその達成状況

【筆記問題】

(1) 次の文章の()の中にあてはまる語句を回答しなさい。

()は、輸送の安全を確保するために一般旅客自動車運送事業者が遵守すべき次に掲げる事項に関し、国土交通省令で定めるところにより、必要な内容を定めたものでなければならない。

- 一. 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針に関する事項
- 二. 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制に関する事項
- 三. 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法に関する事項
- 四. 安全統括管理者（一般旅客自動車運送事業者が、前三号に掲げる事項に関する業務を統括管理させるため、事業運営上の重要な決定に参画する管理的地位にあり、かつ、一般旅客自動車運送事業に関する一定の実務の経験その他の国土交通省令で定める要件を備える者のうちから選任する者をいう。）の選任に関する事項

答. _____

(2) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければならないが、その運行指示書に記載しなければならない事項として法令で定められているものを1つ正確に記入しなさい。

答. _____

(3) 事業者が省令で定める特別な指導として、初任運転者に対して行う安全運転の実技は何時間以上実施しなければならないか。正しい時間を記載しなさい。

答. _____

法令試験問題 模範解答

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1点×20=20点

- (1) 事業者は、旅客の利便を著しく阻害するおそれがあるときは、事業用自動車に車掌を乗務させなければならない。(運輸規則第15条)
(○)
- (2) 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫の収容能力を15㎡広くした場合、車庫の位置に変更が無ければ、事業計画の変更の手続きは必要がない。(道路運送法第15条)
(×)
- (3) 事業者は、無償である場合に限り、その名義を他人に利用させることができる。(道路運送法第33条)
(×)
- (4) 一般貸切旅客自動車運送事業者の事業計画には、配置する事業用自動車のうち、長さ、幅、高さ又は車両総重量が最大であるものの当該長さ、幅、高さ又は重量を記載しなければならない。(施行規則第4条)
(×)
- (5) 自動車の使用者は自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に国土交通省令で定める技術上の基準により灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。(道路運送車両法第47条の2)
(○)
- (6) 一般貸切旅客自動車運送事業廃止届出書には、「廃止する理由」を記載する必要がある。(施行規則第25条)
(○)

(7) 事業者は、事業用自動車の運転者ごとに乗務員台帳を作成し、これを運転者の属する営業所ごとに備えて置かなければなりません。では、下記の中で乗務員台帳に記載が必要な事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。(運輸規則第37条)

- ①運転免許証の有効期限 (○)
- ②営業所の名称及び位置 (×)
- ③雇入れの年月日及び運転者に選任された年月日 (○)
- ④運転者の健康状態 (○)
- ⑤乗務員の家族構成 (×)
- ⑥作成番号及び作成年月日 (○)

(8) 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、收受した運賃又は料金の割戻しをしてはならない。(道路運送法第10条)

(○)

(9) 事業者の運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。(運輸規則第50条)

(○)

(10) 運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。(車両法施行規則第32条第1項第2号)

(×)

(11) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき3回が限度である。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条第1項)

(×)

(12) 旅客自動車運送事業者は、事業報告書及び輸送実績報告書を毎年5月31日までに管轄する運輸支局に提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)

(×)

(13) 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインに関する事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を()内に記入しなさい。(輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインI.1(1)、II.2.⑥、II.4.(3))

- ① 地方自治体、学校関係者等の利用者に選定のポイントを示すものであり、旅行業者は対象としていない (×)
- ② バスガイドの要否を、行程検討の際の留意点の一つとしている (○)
- ③ 入札の契約方法として、一般競争入札を勧めている (×)

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×17=17点

(1) ①道路運送法は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとするにより、道路運送の利用者の（ク）を保護するとともに道路運送の総合的な発達を図り、もって（テ）を増進する事を目的とする。（道路運送法第1条）

②一般旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車転覆し、（キ）を起こしその他国土交通省令で定める（サ）を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。（道路運送法第29条）

③一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（オ）の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める（タ）ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、（イ）を選任しなければならない。（道路運送法第23条）

④旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している旅客のために、次の各号に掲げる事項に関して適切な処置をしなければならない。（運輸規則第18条）

- (1) 旅客の運送を（ソ）すること。
- (2) 旅客を（ウ）まで送還すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、旅客を（ト）すること

ア. 所有権	イ. 運行管理者	ウ. 出発地	エ. 保安基準	オ. 運行の安全
カ. 技術の向上	キ. 火災	ク. 利益	ケ. 迅速	コ. 走行距離
サ. 重大な事故	シ. 運営を適正	ス. 目的地	セ. 点検	ソ. 継続
タ. 営業所	チ. 公害の防止	ツ. 適切な時期	テ. 公共の福祉	ト. 保護
ナ. 乗務員の服務				

(2) 旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、旅客自動車運送事業運輸規則第48条各号に掲げる（ア）及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。（運輸規則48条の3）

ア. 業務の適確な実行 イ. 点呼の実施 ウ. 乗務員の研修

(3) 事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合、一定の事項を記録し、当該記録を運行を管理する営業所において（ウ）間保存しなければならない。（運輸規則第26条の2）

ア. 1年 イ. 2年 ウ. 3年

(4) 旅客自動車運送事業者は、(ア) 以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。(運輸規則 3 6 条)

ア. 二月 イ. 六月 ウ. 一年

(5) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を (ア) しなければならない。(運輸規則 4 4 条)

ア. 常に清潔に保持 イ. 可能な限り清潔に ウ. 運行のたびに清潔に

(6) 旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して (イ) 保存しなければならない。(運輸規則 3 条)

ア. 半年間 イ. 一年間 ウ. 三年間

(7) 自動車運送事業の用に供する自動車は (ア) ごとに定期点検整備をしなければならない。(道路運送車両法 4 8 条)

ア. 三ヶ月 イ. 六ヶ月 ウ. 一年

(8) 「旅客自動車運送事業運輸規則第 4 7 条の 7 第 1 項の規定に基づき、旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項 (国土交通省告示第 1 0 8 9 号)」において (ア) については、公表すべき事項として定められていない。(国土交通省告示第 1 0 8 9 号)

ア. 事務員の数 イ. 輸送の安全に関する基本的な方針 ウ. 輸送の安全に関する目標及びその達成状況

【筆記問題】

1点×3＝3点

(1) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

() は、輸送の安全を確保するために一般旅客自動車運送事業者が遵守すべき次に掲げる事項に関し、国土交通省令で定めるところにより、必要な内容を定めたものでなければならない。

- 一．輸送の安全を確保するための事業の運営の方針に関する事項
- 二．輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制に関する事項
- 三．輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法に関する事項
- 四．安全統括管理者（一般旅客自動車運送事業者が、前三号に掲げる事項に関する業務を統括管理させるため、事業運営上の重要な決定に参画する管理的地位にあり、かつ、一般旅客自動車運送事業に関する一定の実務の経験その他の国土交通省令で定める要件を備える者のうちから選任する者をいう。）の選任に関する事項（道路運送法第22条の2第2項）

答. 安全管理規程

(2) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければならないが、その運行指示書に記載しなければならない事項として法令で定められているものを1つ正確に記入しなさい。（運輸規則第28条の2）

答. 運行の開始及び終了の地点及び日時、乗務員の氏名、運行の経路並びに主な経由地における発車及び到着の日時、旅客が乗車する区間、運行に際して注意を要する箇所の位置、乗務員の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る）、乗務員の運転又は業務の交替の地点（運転又は業務の交替がある場合に限る）、旅客自動車運送事業運輸規則第21条第3項の睡眠に必要な施設の名称及び位置、運送契約の相手方の氏名又は名称、運行の安全を確保するために必要な事項

(3) 事業者が省令で定める特別な指導として、初任運転者に対して行う安全運転の実技は何時間以上実施しなければならないか。正しい時間を記載しなさい。（指導及び監督の指針第2章2）

答. 20時間